

HUMANE INTERNATIONAL NETWORK (HINT)

HINT News Letter No. 40 目次

- page1-2: 「将来は牧師か教師か医師になって、この地を平和にしたい」
Page3-5: HINT アフリカ講演会
Page6-7: 訃報・ホアン司教帰天、会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿、2014年度総会報告
Page8: エポペ・クリスマス降誕ミサ&チャリティパーティーのお知らせ、事務局からのお知らせ

「将来は牧師か教師か医師になって、この地を平和にしたい」

夢を語った子供が医師に

HINTは1994年から20年に及ぶ期間、小学生から大学生までの数多くの子供たちに奨学金を送り続けています。対象は、アフリカの最貧国コンゴ民主共和国（以下コンゴ）の中でも、さらに貧しい東部ブカブ地域。かつてはルワンダの大量虐殺から逃げてきた人々の難民キャンプがあった場所です。

現在も完全な平和はもたらされておらず、窮乏生活にさいなまれている状態です。しかし、この状況に耐えながら、HINTの奨学金によって見事に医学部を卒業し、正式に医師となったのが、アレン・ムサギ＝イデウンボ（Allen・MUSAGHI＝IDUMBO）氏。現地コーディネーターのご子息であり、私たちのNGOの仕事も手伝ってくれています。

「将来は牧師か教師か医師になって、この地を平和にしたい」。自分の夢を当時のカリタスジャパン救援チーム団長の進藤に堂々と語った幼い子供（当時8歳）こそ、このアレン氏でした。それから歳月が経ち、ついに彼はその夢を実現、お礼状と報告書を送ってきてくれました。あらためまして、息の長い温かい皆さまのご支援に心より深く感謝申し上げますとともにお礼状をご紹介します。



「お礼のことば」

アレン・ムサギ＝イデウンボ 親愛なる皆さま。日本のHINTは、教育・奨学金支援という人道的な行動を続けてくださいました。それによって恵まれないコンゴの人々への援助は、この地では想像もできなかった結果を生みました。私の医学部卒業のご

報告を申し上げ、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

今後は、HINTによって得た知識と責任をもって、世界、そして特にコンゴの人々に、医師としてさまざまな病状の治療と病気の予防に努めて参りたいと願っております。そのために私は可能な限り、医療でのHINTの功績をたたえ、できれば将来的には、その成果を永続的に伝えるために、私どもの地域か村で、診療所を開設することを

希望しております。

皆さまのおかげで、今まで不可能であると思われていたことが可能になりました。最後にもう一度、HINTの理事の方々と、今まで寄付をしていただいた日本の支援者すべての方々に、あらためまして奨学生一同を代表し、深くお礼を申し上げます。

病気と治療

現地の病気と治療についてご説明いたします。下の写真は、重複感染性気管支炎を患った幼児の呼吸不全を改善するために酸素吸入を行っている様子です。



私は多くの栄養失調の子供を担当しています。複数のタンパク質不足・栄養失調を診断してきました。現地では特にタンパク質失調（クワシオルコル）が多く、患者の6割が小児科の子供たちです。治療としてF75とF100の粉乳の2種類、ビタミンサプリと抗生物質を用いています。

栄養改善のために、親に対しては、羊、山羊、豚の飼育、家でできる野菜の栽培の方法、子供により食品摂取の仕方などについての説明会を行っています。下の写真は顔と下半身が膨らんだ子供。タンパク質失調と診断しました。治療用の粉乳、サプリメントと抗生物質によりすでに回復に向かっています。



下の写真は重度栄養失調症（マラスムス）から回復中の子供です。



通常行っている手術は、帝王切開、虫垂炎（盲腸）、ヘルニア、嚢腫切除等です。下の写真は、手術にて壊疽した部分のある右膝の関節離断術。傷の縫合の様子です。



下の写真は骨折した患者の足を石膏で固定したところ。交通事故で足の骨2本を骨折した少女の治療の様子です。



その他、隣国ブルンジの International Youth Fellowship (IYF) の子供へのワクチン接種キャンペーンに参加。現在はフォムラック・カタナ (Fomulac Katana) 総合病院にて研修医として働いています。また、当番医としての巡回医療活動にも従事しています。どうか皆さまの温かいご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。

略歴 アレン・ムサギ=イデウンボ
(Allen MUSAGHI IDUMBO)

1986年6月23日、コンゴ民主共和国南キヴ(Kivu)州ブカヴ(Bukavu)市で生まれる。

アズマ(Azma)学校、ファディリ(FADHILI)高校にて中・高等学校を卒業。総合教育学部高等科修了証。公立ブカヴ(Bukavu)大学で医学部卒業、医師国家免許取得(注:卒業と同時に免許取得になる)。

2014年よりフォムラック・カタナ(Fomulac Katana)総合病院にて研修医(注:仏語の「総合病院」は地域の中で、かかりつけ医が優先的に紹介する「模範的総合病院」の意)。

HINT アフリカ講演会

カトリック松原教会で行われた、HINT総会に続くアフリカ講演会（6月21日）では、コンゴ民主共和国（以下コンゴ）出身のカトリック松原教会・淳心会司祭オノレ・カブンディ神父に記念講演を行っていただきました。講演内容を継続連載でご紹介いたします。

「コンゴの危機と教育問題、 希望をもって未来に向かう子供たち」

オノレ・カブンディ

本日はHINT創設20周年に当たって、お招きいただき、とても光栄に思っています。日本から遠く離れた国の恵まれない子供たちや少数民族のことを心にかけて頂き、心より感謝申し上げます。ご支援のおかげで子供たちが教育を受けることができ、希望をもって未来に向かって進んでいくことができます。

私を通じて、アフリカのコンゴに興味を持ってくれる人が増えれば嬉しいことです。と同時に、コンゴについて話することに緊張も感じます。と言いますのも、どの視点に立ってコンゴの危機や教育についてのお話をすればよいか、今一つ分からないからです。コンゴはアフリカのブラジルのように、私の話はいくらまとめようとしてもコンゴ全国について事情を皆さまにお届けすることは不可能です。私がコンゴの危機と教育問題についてお話ししようと思った理由は二つあります。



語りかけるオノレ神父

一つは、このHINTが創設された年の1994年は私にとっては忘れられない年であり、現在のコンゴ危機の始まりの年でもあります。その頃、私はルワンダの虐殺を逃れた難民のためにボランティア活動をしていました。1994年に東コンゴへのルワンダ難民の大量流入は多面的危機の扉を開いてしまいました。現在、ルワンダは落ち着いた状態になりましたが、東コンゴでは地獄のような悲惨な状況になっ

ているようです。ですから、我が国について語る時は、まるで、アフリカの傷ついた心、「世界に忘れられた国」の苦悩について話している気持ちになります。

もう一つの理由は、私どもも恵まれない子供たちが希望を持つことができるよう、彼らの施設に援助していき、彼らの未来こそ長い間願望しているものです。

皆さんのご期待にそえるかどうかは分かりませんが、アフリカやコンゴについて、少しでも理解を深めていただければと思います。

地形と人口

よくご存じのように、忘れ去られた「人類のゆりかご」であるアフリカには54の国があり、それぞれ独自の文化、言語、歴史、国土を持っています。「アフリカ人」と呼ばれるのも嬉しいですが、そう呼ばれるにはアフリカは大きすぎます。私は「コンゴ人」と呼ばれる方がもっと気分がいいです。私の出身国で考えていただく方が分かりやすいと思います。アフリカの地図を見ていただくだけでお分かりになると思います。人類のゆりかごと認められているこのアフリカ大陸は他の大陸と比べて発展が遅く、天然資源は豊富なのに、そこに住んでいる人々は貧しいのです。このアフリカの危機の始まりは時代をかなりさかのぼります。そして、それは今でも大きな影響を及ぼしています。西欧人を嫌っているわけではありませんが、歴史の事実を忘れることはできません。

西欧人が15世紀にアフリカにやってきた時、彼らは私たちアフリカ人も独自の長い歴史と文化を持っている民族であるということを見ないで無視したのです。彼らは自分たちがアフリカを「発見」と主張したのです。何という愚かなプライド、思い上がりでしょう！「アフリカを発見した」時、あまりに嬉しくなり（傲り高ぶり）、アフリカを自分たちの宝、自分たちがアフリカの所有者だと思い込んだのです。そして、奴隷売買を始め、アフリカの天然資源を盗み、反抗しようとする人々を殺し、野蛮な植民地とアパルトヘイトなどで15世紀から21世紀に至るまで、西洋文明はアフリカの伝統遺産を破壊したのです。今のアフリカの地図を見ればたくさん国がありますが、その分割はアフリカ人が望み、言葉と文化の違いによって分割したわけではありません。

1885年のベルリン会議でヨーロッパ人は、経済的、政治的振興策として、まるでケーキを切るようにアフリカを山分け（分割）しま

した。ベルギー国王、レオポルド2世は「アフリカの心」であるコンゴをベルリン会議で手に入れ、国としてではなく、彼の個人的領地として意のままに、容赦なくコンゴを支配しました。しかし1908年、ベルギー政府によって、レオポルド2世国王はコンゴの支配権を強制的に譲渡させられることになりました。この時期、1千万人に上るコンゴ人が植民地入植者たちにより殺害されています。世界史の中でも最悪の集団虐殺でした。恐怖政治と人民殺害によって盗んだアフリカの天然資源のおかげで、ヨーロッパの多くの国々は発展を遂げました。そして、今日に至るまでこの状況が続いています。このような非道な行為はヨーロッパではあまり知られていません。と言いますのも、ベルギー統治時代のコンゴで実際に何が行われていたかということは、西側諸国では誰も好んで知りたくはないからです。アフリカを支配し、食べ物にする西欧諸国の欲望の副産物、影響に対する西欧諸国の良心の呵責、悔恨はこれまで全くありません。

このことは特に、盗み、残虐行為、殺人、略奪についてさえ、権力者が刑事免責を保証されてしまうというような政治支配の悲劇的な前例を作ってしまった。アフリカはいつまた狙われるか分かりません。（おいしいステーキのように）皆がアフリカの一部を欲しがっています。今日では中国の支配時代になっているようです。これはアフリカの本当の話です。この歴史を知らずにアフリカの紛争などの原因は理解できません。

コンゴの現状

コンゴ民主共和国は通常「DR. コンゴ、コンゴ・キンシャサ、ザイル、またはDRC」と呼ばれ、中央アフリカに位置する国です。面積ではアフリカで2番目、世界では11番目に広い国です。7千万人の人口を抱え、国土面積は日本の6倍から7倍あり、宗主国ベルギーの80倍です。コンゴの国境はアフリカの9つの国に接し、西では40kmにわたって大西洋に面し、コンゴ川の河口は9kmの幅で大西洋につながっています。コンゴ川はアフリカ大陸で2番目に大きな川で、私の国はその川の名前に由来します。コンゴ川は大陸の動脈で、最大幅は14kmにもなり、キンシャサからキサंगाニまで船で楽に行き来でき、その豊富な水量は、水力発電にするとアフリカ全土の電気を賄えるほどです。人口では世界19位、アフリカで4位、フランス語圏では最も多い人口を抱えていま

す。フランス語のほかには地域によって4つの主要言語（リンガラ、キコンゴ、キスワヒリ、チルバ）があります。宗教に関しては主にカトリック、プロテスタント、独立教会があります。カトリックは国教ではありませんが、社会に大きな影響を与えています。

天然資源

コンゴは世界で最も豊かな天然資源を有する国の一つで、ダイヤモンド、金、銅、コバルト、木材、原油、ウラニウム、マグネシウム、石炭、錫、タンタル酸ニオブ、銀が豊富です。タンタル酸ニオブはコルタンとも呼ばれ、今日では携帯電話などの日常電子機器に欠かせない資源です。しかしながらこの豊かな資源は、コンゴに住む人々にとっては幸いをもたらしたと言うよりは、しばしば災いのもとになってきました。この間、あるテレビ番組を見ました。貧しい生活を生きようとするある家族の挑戦という番組でした。「明るい地獄生活、地獄貧乏生活」それでも明るく生きています！これは多くのアフリカの子供の現実ではないかと思いました。



熱心に耳を傾ける参加者

コンゴの豊富な天然資源と、コンゴの人々の驚くほどの苦悩とのギャップ、隔たりはパラドックスです。矛盾しています。コンゴが世界で最も需要の高い資源を保有しながら、そのコンゴの人々が苦悩で衰弱していくことを、どう説明すればよいのでしょうか。コンゴは、自国の天然資源を活用すれば世界で最も信望のある国になれるのです。

西側の人たちがアフリカに注意を払うときは、しばしば、自分たちの利益を保護するリーダーを現地の人々に課するときのみです。彼らは民主的な選挙をサポートすると国民に言うのですが、実際には彼らの汚いビジネスを継続させる指導者をサポートするのです。

コンゴ危機の理由は簡単です。すなわち、近代先進社会に不可欠な鉱物資源の支配です。推定で3万3千人の子供たちがおり、中には10

歳の子供たちが兵士になって、軍隊に強制的に入れられています。このうちの40%の子供は女の子または若い女性で、性的奴隷にされています。それにもかかわらず、コンゴの危機や問題は無視され、世界の国際寄付リストの最下位にランクされています。

コンゴの一般国民は長年の危機と苦悩で疲れ切っています。が、国際社会が戦争終結の条件として押し付けようとしているコンゴの分割を、コンゴの人々は受け入れません。コンゴに必要なのは良いパートナーです。単に資源の獲得や、戦争に駆り立てる人々に武器を配布する人たちではなく、この国の発展に手を差し伸べてくれる良いパートナーが必要です。

日本や、また世界の先進国で、人々は好んで携帯電話、コンピューター、デジタルテレビを所有します。しかしこれらの機器を作るためにはコンゴで産出されるコルタンが必要なのです。コルタンを精製すると高い耐熱性を持つ金属粉、タンタラムができます。このタンタラムは携帯電話やその他の電子機器には不可欠な材料なのです。どこであなたがこれらの電子機器を買い求めても、もともとは戦争と大量殺人という状況のコンゴからの材料が使われているのです。

皆さまはご存じかもしれませんが、この天然資源の恩恵を受けたことのない貧しい農民、子供や女性など、何百万人もの人々を彼らは殺しています。コンゴのコルタンやダイヤモンドから作った製品や電子機器は日本ではとても高く売られています。しかし彼らはその資源をコンゴでほとんどただ同然で手に入れているのです。彼らは人々を殺害し、紛争を助長し、できるだけ多くの資源を手に入れようとしているのです。

どうぞ、正義を求めているコンゴの子供たちの訴えに、皆さまの目を開き、心を開いてください。

もし、皆さまに子供や孫がいらっしゃるなら、コンゴの子供の兵士3万3千人の現実に目をそらすことはできないでしょう。

もし、あなたが女性なら、東コンゴの若い女の子や若い女性の暴行に無関心ではいられないでしょう。

もし、あなたが戦争に反対なら、コンゴの6百万人余りの死を前にして沈黙を続けられないでしょう。コンゴの不安定な状況は世界の平和に対する脅威です。原子爆弾は西欧がコンゴから採ったウランで作られたことをご

存じでしょう。この不安定な状況が続けば、これから何が起きるかわかりません。外国企業は邪魔されることなく彼らのビジネスを続け、前向きな姿勢をもった平和への呼びかけを見ようとしなさい、エゴのかたまりである少数のコンゴ人と共に、この国の資源を奪い続けています。

コンゴの危機の中に置かれている子供たちを助きたい気持ちがあれば、彼らの教育を支えてください。そうすれば未来に向かって彼らに希望を抱かせることができるでしょう。

教育制度

コンゴの教育制度は、初等教育6年間とその後に続く6年間の中等教育に分かれているという点では、ベルギーのシステムと似ています。中等教育はさらに2部に分かれ、最初の2年は専門に分かれる前のオリエンテーション、そして4年間のいわゆる人文科目教育です。中等部では様々な専門分野があります。教育（心理学・教育学）、古典文学（ラテン語・ギリシア語・哲学）、科学（生物学・化学および数学・物理学）、商業（商業および経営学）、文芸、技術（機械工学・電子工学・電気工学）美術工芸、その他の人文科学のコースがあります。その後は3年目から自動車整備、電気、マーケティング、助産師、看護師、縫製技術などを学びます。

中等教育6年間で修了し、自分の専門分野での国家試験に合格すれば国家公認の高等学校のディプロマ、証書が得られます。この段階で卒業する道も選択できます。国の教育への公的資金援助制度は1985年に崩壊しましたが、保護者たちの直接の学費負担のおかげでコンゴの教育制度は発展し続けています。就学率は都市で76%、地方で48%に達しています。

近年改善してきたとはいえ、コンゴの教育制度は何十年にもわたる紛争のせいで打撃を受けています。15年間の内戦で学校での教育が中断したり、学校へ一度も通ったことのない子供たちは520万人にのぼります。

カトリック教会としては全国規模で学校を復興させようと最善の努力をしています。しかし外部の援助なしではこのようなプロジェクトを実現するのは困難です。政府といえど国防と戦争には更なる資金をつぎ込んでも、教育にお金をかけるといふ責任感も能力も持ち合わせていません。

（次号で継続連載をいたします）

訃報・ホアン司教帰天

ベトナム事業で、現地カウンターパートとして、長年にわたり大変お世話になった、ファンティエット教区のポール・ニエン・ホアン司教 (Bishop Paul Nguyễn Thanh Hoan、1939年11月11日生) が、本年8月18日昼過ぎに、突然、胸の痛みを訴えて入院され、手当の甲斐なく帰天されました。司教になられてからも、貧しい農村の人々の支援をするために、世界中を駆け巡って支援を呼びかけ、自ら農業を学びつつ現場で先頭に立って実践をされた方でした。哀悼の誠を捧げ、永遠の安息を心よりお祈りいたします。詳細については次号でご報告いたします。

会費納入者・寄付者及び物品寄贈者名簿 (2014/5/1～2014/10/31・順不同・敬称略)

酒井匠	佐賀邦夫
高橋章	GA コンサルタンツ
長野圭子	渡邊玲子
古城かほる	石間裕
前田陽一	米村富士子
久米一誠	島田恒
大野容子	末永恵子
捧亮平	藤井紀雄
村上夫光子	品田和之
窪田愛子	村井厚子
高澤佳代乃	石原達哉
東矢高明	渡辺潤子
中山善四郎	岸田万紀子
オリビエ・シェガレ	グエン・テ・ホン
山田篤	野坂俊弥
中本裕之	末吉孝幸
野口和恵	進藤重光
桐山泰柁	石田達也

赤羽教会チャリティーコンサート実行委員会
高田真希子 匿名の皆様
ご支援・ご協力ありがとうございました。

★左記期間内に会費納入やご寄付をされている方で、名簿に載っていない方は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。

★HINT は皆さまの会費で運営されています。年会費 5,000 円で、ベトナムでは約 500 人分の給食を提供できます。コンゴで中高生約 2 人分の 1 年間の学費です。

★封筒ラベルの一番下にある日付が、貴方の最終振込み日です。

★郵便局の振込金受領書は、正式な領収書ですので、大切に保管してください。

★振替用紙は郵便局から事務局にコピーが届きますが、判読しづらい場合があります。楷書で分かりやすくご記入いただきますとたいへん助かります。

2014 年度総会報告

下記のとおり、2014 年度総会を開催しました。すべての議案が承認可決されましたので、ここにご報告いたします。

記

- 日時：2014年6月21日(土)14:00～15:00
- 場所：カトリック松原教会 2階ホール
- 正会員数 23 名 出席会員数 14 名

1. 2013 年度事業報告

詳細は事務局保管議事録をご参照ください。

2. 2013 年度決算報告

次頁をご覧ください。

3. 2013 年度役員改選

代表：進藤重光(再任)、

事務局長：石田達也(再任)

事務局長代行：長野圭子(再任)

総括担当：高橋章(再任)

ベトナム担当：末吉孝幸(再任)

広報担当：桐山泰柁(再任)

情報担当：酒井匠(再任)

監査：國府俊明(再任・9/27 付退任)

4. 2014 年度事業計画

詳細は事務局保管議事録をご参照ください。

5. 2014 年度予算案

次頁をご覧ください。

2. 2013 年度決算

(2013年5月1日～2014年4月30日)

単位：円

I 経常収益	
1 受取会費	
正会員受取会費	222,000
賛助会員受取会費	417,420
2 受取寄附金	
受取寄附金	104,257
3 受取助成金等	
受取補助金	0
4 事業収益	
普及啓発事業収益	158,500
5 その他収益	
受取利息	24
経常収益計	902,201
II 経常費用	
1 事業費	
(1)人件費	0
(2)その他経費	
経済的支援事業	
奨学金	561,545
保健衛生	0
送金手数料	7,500
普及啓発事業費	
出展料	18,750
原材料費	0
会議費	7,350
講師謝礼	20,000
雑費	1,450
広報事業費	
通信費	28,080
消耗品費	0
その他経費計	644,675
事業費計	644,675
2 管理費	
(1)人件費	0
(2)その他経費	
通信費	83,067
会議費	11,375
消耗品費	3,880
図書費	1,890
雑費	0
その他経費計	100,212
管理費計	100,212
経常費用計	744,887
当期経常増減額	157,314
税引前当期正味財産増減額	157,314
法人税、住民税及び事業税	0
当期正味財産増減額	157,314
前期繰越正味財産額	245,053
次期繰越正味財産額	402,367

5. 2014 年度予算案

(2014年5月1日～2015年4月30日)

単位：円

I 経常収益	
1 受取会費	
正会員受取会費	300,000
賛助会員受取会費	400,000
2 受取寄附金	
受取寄附金	200,000
3 受取助成金等	
受取補助金	0
4 事業収益	
普及啓発事業収益	200,000
5 その他収益	
受取利息	1,000
経常収益計	1,101,000
II 経常費用	
1 事業費	
(1)人件費	0
(2)その他経費	
経済的支援事業	
奨学金	700,000
保険衛生支援	300,000
送金手数料	20,000
普及啓発事業費	
出展料	30,000
原材料費	50,000
会議費	20,000
講師謝礼	50,000
雑費	
広報事業費	
通信費	50,000
消耗品費	10,000
その他経費計	1,230,000
事業費計	1,230,000
2 管理費	
(1)人件費	0
(2)その他経費	
通信費	100,000
会議費	50,000
消耗品費	30,000
印刷費	40,000
雑費	53,367
その他経費計	273,367
管理費計	273,367
経常費用計	1,503,367
当期経常増減額	-402,367
税引前当期正味財産増減額	-402,367
法人税、住民税及び事業税	0
当期正味財産増減額	-402,367
前期繰越正味財産額	402,367
次期繰越正味財産額	0

●エポペ・クリスマス降誕ミサ& チャリティパーティー開催!

日時：2014年12月23日(祝) 17:30 開場
降誕ミサ：18:00~19:00

(司式：オリビエ・シェガレ神父)

チャリティパーティー：19:00~21:00

会費：7,000円(飲み食べ放題・未就学児無料)

場所：「タントタント」渋谷東急本店8階

東京都渋谷区道玄坂2-24-1(電話03-3477-3881)

JR・京王・地下鉄線「渋谷駅」(送迎バス有)

お問い合わせ：エポペ・チャリティクリスマス
実行委員会 (070-5565-5721 留守電対応)

★「エポペ」のホームページか、お電話でお
申し込みください。会場の都合上12月18日
(木)までにお申し込みをお願いいたします。

会費振込のお願い

皆さまの会費やご寄付が命綱です。お振り込
みは同封の振込用紙を使用していただくか、
下記口座へお振込みくださいますようお願い
します(賛助会員：1口5,000円から・学生会
員：1口2,000円から。ご寄付の場合はご随意)。

■郵便振替：00120-1-596327

口座名義：特定非営利活動法人 HINT

■ゆうちょ銀行：

記号10010 番号26990711

(他銀行から振り込む場合 店名：008

種目：普通 番号：26990711)

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメ
イン・インターナショナル・ネットワーク

■三井住友銀行：新宿支店

普通預金：3390001

口座名義：特定非営利活動法人ヒューメ
イン・インターナショナル・ネットワーク

HINT 事務局からのお知らせ

《活動報告》

● 2014年度総会を開催しました

日時：2014年6月21日(土)14:00~15:00

場所：カトリック松原教会 2階ホール

2013年度事業報告及び決算報告、2014年度
役員選挙、事業計画、予算計画、定款一部変
更などについて話し合われました。総会報告
を6~7ページに掲載しました。

総会后、記念講演を行っていただきました。
多くの方にお集まりいただき、活発な質疑応
答も行われました。講演内容は3~5ページに
掲載しました。

● 赤羽教会チャリティコンサートに参加しました

日時：2014年8月31日(日)13:30~17:00

場所：カトリック赤羽教会

アジアとアフリカの子供のためのチャリテ
ィーコンサートは11回目を数え、参加者も多
く、さらに活発になってきています。今年は
出演者も国境を越えて、歌あり、ダンスあり、
楽器演奏ありと盛りだくさんの楽しめるコン
サートでした。HINTは、支援先の雑貨紹介な
どを通して、活動を紹介しました。

● グローバルフェスタ JAPAN2014 に出展 しました

日時：2014年10月4日(土)・5日(日)

場所：日比谷公園

HINTのブースへ、ベトナムへの農業支援に
向かう若者や、コンゴ出身の女性が立ち寄っ
てくださいました。支援を続けてきた喜びを
味わう瞬間でした。2日目は台風のため、残念
ながら閉会が早まりましたが、現地の雑貨な
どの紹介を通じて、HINTの活動をPRしました。

特定非営利活動法人ヒューメイン・インターナショナル・ネットワーク (HINT) 事務局

〒164-0002 東京都中野区上高田3-24-7 平兵衛内

電話&FAX:03-6279-1080

e-mail: hint_info@epopee.co.jp

ホームページ: http://www.epopee.co.jp/hint